

# うむい小

— 2号 —  
平成21年 春

## 第50回記念秋季例大祭齋行



平成二十年十月二十三日、第五十回記念秋季例大祭が斎行されました。戦後の荒廃した境内に仮社殿が完成した昭和三十四年に第一回の大祭が行われ、昨年は記念すべき第五十回(五十年目)を迎えました。靖国神社より南部利昭宮司をお招きし、また多くのご来賓、御遺族約六〇〇人がご参列のもと盛大に行われました。

午後一時雅楽の生演奏の中祭典が斎行されました。

まず、国の鎮めの楽が流れ引き続き参列者全員により国歌斉唱が声高らかに響き渡りました。修祓献饌の後、伊藤宮司の祝詞奏上、次に大祭委員長座喜味和則沖縄県護国神社代表役員、沖縄県遺族連合会仲宗根義尚会長の二人が祭文を奏上申し上げました。

その後は茶道裏千家淡交会沖縄支部による御奉茶の儀、またMOA



献華



ご奉茶



琉舞奉納

山月光輪花による献華の儀が行われ、太圭流佐藤太圭子家元ほか皆様による琉球舞踊「稲まつん」「打組鳩間節」が奉納されました。その他拝殿内にて専心池坊琉球支部によるいけばなが二十杯展示され、斎場は「層華やぎ」をみせ、十月とは思えぬ沖縄の青空の下

五十年の歴史を思わせる記念の祭典がここに斎行されました。  
— 二頁へ続く —

大祭委員長祭文奏上



宮司祝詞奏上



大祭委員長祭文奏上



靖国神社南部宮司玉串拝礼



雅楽の演奏の中...



国歌斉唱



お参りの作法は、2礼2拍手1礼



# 宵宮祭



「みたま慰めの舞」

前日の夕刻には宵宮祭が行われ役員、総代参列の下、厳かに夜の祭典が斎行され、みたま慰めの舞も奉奏されました。

当日は、祭典に先立ち本部御殿手真武館による空手、NPO法人無外流琉風会による居合の奉納演武が行われました。

祭典終了後は記念式典が行われ靖国神社南  
部利昭宮司より「祖先崇拜の信仰が盛んな沖

## 受賞者のみなさん

\*感謝状受賞者

- 靖国神社 慶
- 沖縄県遺族連合会 慶
- 琉鵬事業委員会 慶
- オリオンビール株式会社 慶
- ジーマ株式会社 慶
- 株式会社ジーマックス 慶
- フォートプラザ 慶
- 代表 安田敦夫 慶
- 株式会社うるま印刷 慶
- 沖縄瓦斯株式会社 慶
- たけや旗染店 慶
- 代表 村吉政栄 慶
- 総合教育研究所 慶
- 茶道裏千家淡交会 慶
- 沖縄県支部 慶
- M〇A山月 光輪花 慶
- 那覇基地太鼓部 鼓風 慶
- 沖縄県出店業組合 殿

\*表彰状受賞者

- (永年勤続) 一橋勝巳 殿
- 又吉真典 殿
- 宮里洋子 殿
- 渡辺尚武 殿
- 島仲 彌 殿
- 新里 清 殿



空手

## 奉納演武

子を亡くされたご家庭の悲しみや、後を継ぐ血縁者が絶えたご家庭の供養に思いを致しますと、その傷跡の大きさに深い悲しみを覚えます。」と沖縄県民を労わるとご祝辞を賜りました。引き続き感謝状と功労賞の授与も行われました。



居合い

沖縄のスター  
仲田幸子!!



## 奉納芸能



植樹

また、靖国神社南部利昭宮司(ご参拝記念植樹として境内に桜の木が植えられました。二方舞台ではさらに盛り上がりを見せ、沖縄を代表する喜劇俳優仲田幸子座長率いる「いでいご座」によるお笑いショーが催されました。孫娘の仲田正江さんの歌も披露され、御遺族や参列者は終始笑顔が絶えませんでした。最後に責任役員の一橋勝巳氏が閉会の辞を申し上げ、第五十回記念秋季例大祭は無事お開きとなりました。

なお、この祭典に合わせ拝殿の床の研磨や、威儀物の新調も行われました。

◆ご参列戴いた靖国神社南部利昭宮司は来沖より約二ヵ月半後の平成二十年一月七日にご逝去されました。謹んでご冥福をお祈り致します。



社務日誌抄

(平成21年9月12月まで)

9月

- 4日 野原鐵太郎様他二名正式参拝
- 15日 敬老祭
- 15日 識名宮例大祭参列
- 19日 靖國神社崇敬奉賛会青年部あさなき広報部益田健太郎様正式参拝
- 23日 秋分祭
- 23日 修養団捧誠会木島一郎様他38名正式参拝及び神石祭奉仕
- 10月
- 10日 鎮魂なくやけの碑慰霊祭参列
- 11日 那覇まつり成功祈願祭
- 13日 普天満宮例大祭参列
- 15日 南風原小学校職場体験学習



をして半日の体験学習を終えました。

小学四年生の女子生徒二人が当社へ訪れ、朝拝に参列し社殿の清掃などを体験しました。また、巫女と揃った下品を袋に詰める作業など

- 17日 神嘗祭通拝式
- 17日 波上宮神嘗祭当日祭奉賛会秋祭参列
- 19日 浮島神社例大祭参列
- 20日 沖繩神社例大祭参列
- 21日 兵庫県遺族会43名正式参拝
- 毎年この時期に遺族会の皆様が全国から沖繩を訪れています。今年は兵庫県から始まりました。
- 22日 宵宮祭

第50回記念秋季例大祭実行

- 23日 群馬県遺族会50名正式参拝
- 24日 群馬の塔慰霊祭参列
- 24日 東京都遺族連合会39名正式参拝
- 24日 第31回沖繩の産業まつり成功祈願祭
- 26日 安里八幡宮例大祭参列
- 27日 福島県遺族会29名正式参拝
- 29日 ふくしまの塔慰霊祭奉仕
- 29日 普門寺住職藤本恵祐様他25名正式参拝



普門寺ご一行様と記念写真

- 29日 熊本県遺族連合会32名並びに熊本県護国神社宮司坂本泰彦様正式参拝
- 30日 広島県遺族会29名正式参拝
- 30日 神戸三宮ひびと街創り協議会会長久利計一人様正式参拝

11月

- 1日 丸徳ガス産業創業祭
- 3日 明治祭通拝式
- 4日 因伯の塔慰霊祭奉仕
- 4日 岩手県遺族会29名正式参拝
- 4日 佐賀県遺族会87名並びに佐賀護国神社宮司宮田豊様正式参拝
- 5日 栃木県連合遺族会自由参拝
- 5日 はえばる保育園七五三参り
- 5日 山口県遺族連盟44名正式参拝
- 6日 防長英霊の塔慰霊祭参列
- 7日 徳島県遺族会22名正式参拝
- 8日 住吉神社例大祭奉仕
- 8日 山梨県遺族会66名自由参拝
- 8日 小嶽保育園七五三参り
- 10日 長崎県連合遺族会56名正式参拝
- 10日 長崎の碑慰霊祭参列



19日 東京都神道青年会24名正式参拝  
夕刻に当青年会が開いた勉強会に講師として当社座喜味会長が招かれ沖繩戦や東京之塔について講話をされました。

1月

- 1日 歳旦祭
- 3日 元始祭
- 12日 成人祭
- 31日 大祓式古神札焼納祭・除夜祭



20年話 23日 那覇西高校サッカー部必勝祈願  
即位の時 26日 神皇に参る 式守札清  
天皇の御座られたことに  
天喜の祭典 奉告祭  
長祝の奉告祭

12月

- 1日 藤川蓮二様正式参拝
- 6日 日本遺族会37名正式参拝
- 23日 天長祭
- 29日 愛媛県遺族会36名正式参拝
- 27日 岡山県遺族連盟57名正式参拝
- 27日 愛媛の塔慰霊祭参列
- 28日 五社神社宮司上杉千郷様正式参拝
- 29日 前田平和の碑慰霊祭奉仕
- 26日 神奈川県遺族会74名正式参拝
- 26日 和歌山県遺族連合会45名正式参拝
- 25日 3名正式参拝
- 25日 沖繩埼玉の塔慰霊参拝、埼玉の塔管理委員会68名正式参拝
- 24日 靖國神社権禰宜大山晋吾様他3名正式参拝
- 23日 末吉宮例大祭参列
- 23日 沖繩埼玉の塔慰霊参拝、埼玉の塔管理委員会68名正式参拝
- 21日 千葉県遺族会40名正式参拝
- 20日 しばみつ保育園七五三参り
- 20日 茨城県遺族連合会34名正式参拝
- 19日 岐阜県遺族会79名正式参拝
- 19日 沖繩整肢療護園七五三参り
- 19日 千葉県遺族会40名正式参拝
- 19日 しばみつ保育園七五三参り



千歳飴を手にうれしそう～





近年は景気の悪化が叫ばれておりますが困った時は神頼み?と参拝者の増加に繋がったのでしょうか。

今年の初詣でも社頭は大変賑わいました。また、本年は四日曜日だったため正月四日となり参拝者数は二十四万人のお参りを頂きました。



鏡割り

# 一年の心定まる初詣

## 正月準備

当社の正月準備は、沖縄県出店業組合の皆様が毎年床張りからテント設営大型賽銭箱みくじ結びその他すべてのハード面をご奉仕してくださいます。この方々のおかげで今年も無事に多くの参拝者を迎える事が出来ました。心から感謝いたします。

また、年末には毎年恒例「福笹」作りが巫女の手により準備



基地那那隊衛自衛航空 太鼓部「鼓風」による奉納演奏



沖縄国際大学の「琉球風車」によるエイサー奉納

## 卯奉納

当社の神饌(お供え物)には卯がある。これは山の幸、つまり野鳥の代わりである。昨年「沖縄鶏卯販売株式会社」の皆様がお参りされた際に、代表取締役お山田良克氏が神饌の卯を奉納させて頂き、今年のお申し出をいただき、今年のお正月より月に400個の鶏卯を奉納戴くことになった。



なりました。生の笹の葉にひょうたんや小判・五色の紙垂・鈴・短冊など九種類のものを下げた当社オリジナルの縁起物です。



福笹作り



出店業組合のみなさん



- 25日 海軍の塔改築除幕清祓い奉仕 海軍壕に建奉納
- 2月
- 2日 JYMA(旧日本青年遺骨収集団)16名正式参拝
- 3日 沖繩京都の塔奉賛会21名正式参拝
- 3日 節分祭
- 5日 靖国神社主典田中宏昭様実習 生鎌田昭寿様正式参拝
- 8日 日本和裁士会沖繩県支部針祭
- 11日 紀元祭
- 午前十時三十分皇紀二六六九年の紀元祭が斎行されました。先ず始めに参列者全員で「君が代」を斉唱、宮司祝詞奏上の後、神楽・浦安の舞を奉奏しました。祭典終了後は宮司の小講話「くにの紀元を壽ぐ」を拝聴しました。
- 16日 桑明会17名正式参拝
- 17日 祈年祭
- 20日 船越八幡神社宮司藤本鳳秀様 他二名正式参拝
- 20日 札幌市連合遺族会第三十三次戦没者遺骨収集団49名正式参拝
- 23日 山形の塔慰霊団48名正式参拝
- 24日 山形の塔慰霊祭参列
- 31日 八幡神社熊野神社参拝団宮司 進藤廣様他三名正式参拝
- 新しい塔の前で巫女による神楽「みたま慰めの舞」を奉納しました。
- 祝詞が上げられ新しい塔の前で巫女による神楽「みたま慰めの舞」を奉納しました。
- 奉納された慰霊の塔がこの度、海友会によって改築され、除幕式が行われました。当神社宮司斎主により



# 奉 ● 祝

## 天皇陛下ご即位20年・両陛下ご成婚50周年



### 沖縄県遺族連合会名誉会長 座喜味和則氏(当社代表役員)が祝辞

平成20年12月19日に東京文京区のJCBホールで天皇陛下御即位20年奉祝中央式典が行われました。式典では政府代表で麻生総理を始め日本経済団体連合会会長・御手洗富士夫氏等各界の代表が祝辞を述べられました。その中で当社代表役員である座喜味和則氏が、沖縄県遺族連合会名誉会長として祝辞を述べました。

座喜味氏は、これまで両陛下と5回の拝謁の中で、平成5年の全国植樹

祭にご臨席のため、御即位後初めて沖縄を幸された時のことを最も印象に残るとして、那覇空港にご到着された両陛下が最初に南部戦跡に向かわれ、国立沖縄戦没者墓苑では献花をされ、沖縄平和祈念堂においてはお出迎えした遺族一人ひとりにやさしく声を掛けていただき、沖縄の犠牲に対して心から慰めなければならぬという陛下のお気持ちを強く感じ、また陛下のお言葉は御霊の供養になったと話し、あの日の感激は遺族の支えとなっていましたと述べました。さらに、陛下から賜った琉歌(沖縄の短歌8・8・8・6を基調とする)を紹介し「摩文仁」と題された琉歌は6月23日の戦没者追悼式の前夜祭で琉球古典音楽の調べに乗せて献奏されていることを伝え、そうした沖縄に対して並々ならぬお気持ちをお寄せ戴いている両陛下に、心からの感謝とお祝いを申し上げます。

### 皇后さまから御歌集『瀬音』を賜る 奉祝の宮司著書『大御心と沖縄』を献上

さる2月24日から4日間、第五回全国護国神社神職皇居勤労奉仕団に団長として加わった伊藤宮司に、皇后さまから侍従職を通して、御歌集『瀬音』を賜りました。

から恭しく取り出すと、写真のとおり付箋が張られていた。畏れ多きことながら皇后陛下のお心配りとしか考えられません。

『瀬音』64頁。御歌は  
鹿子じものただ一人子を  
捧げしと護国神社に語る  
母はも  
であります。初御来島が昭和50年であるため、昭和49年にお詠みになったこの御歌が「沖縄県護国神社」のことであると誰も気付いていませんでした。初めて作者である皇后さまから明らかにされたことになりました。



勤労奉仕最終日、両陛下の御会釈があり、団長である伊藤宮司が「沖縄県護国神社から」とご奉答すると「沖縄県では先の大戦で沢山の人が亡くなっておりますね。」「遺族の方も御高齢になられていますので心の支えになってあげて下さい。」とお言葉をいただいた、その日の午後、宮内庁総務課の職員二人が伊藤宮司へ、皇后さまの著書を届けにられました。

神社では、この御愛念にお応えするため境内にこの御歌の石碑を建立する計画が立て始められています。

さらに伊藤宮司が、執筆中の随筆をまとめて、「奉祝御即位20年、御成婚50年」を表意した小冊子『大御心と沖縄』を御返礼として先般4月20日に宮内庁に届け、皇后陛下に献上御伝奏を無事終えることができました。

皇后さまから「沖縄県護国神社からお越しの方が居られたので、この『瀬音』という本を差し上げて下さい。沖縄県護国神社を詠んだ歌が載っておりますから」というお言葉で、侍従職へ渡されたとのこと。後刻伊藤宮司は封筒



市販されていますが当社でも扱っております。定価500円、送料共600円

**DVDのご紹介** 天皇陛下御即位20年奉祝記念映画

『平成のご巡幸』 第二巻 鎮魂と平和の祈り

本作は両陛下が、長崎、硫黄島、サイパン島そして沖縄へ行幸された際の記録映画で、当社の座喜味会長・仲宗根理事ほか沖縄の方々への映像も多数収録されています。是非ご覧下さい。

額価三、〇〇〇円



ご創建七十五年記念事業ご奉賛のお願い

当沖縄県護国神社は、昭和十一年沖縄招魂社として現在の地に創建されました。平成二十二年はご創建七十五周年を迎える年となります。

記念事業として社務所改築を始め、境内の整備改修ご遺族の高齢化に伴いバリアフリーに配慮し皆様へ快くご参拝頂けるよう進めて参ります。何卒ご理解戴きご賛同下さいますようお願い申し上げます。

尚、三月末現在の奉納者は次の通りです。(敬称略)

【金四百万円也】沖縄県遺族連合会【金二百万円也】加治順人【金百万円也】牧清西川ユキ伊藤陽夫【金五十万円也】幸田かね(株)仲本工業【金三十万円也】札幌市連合遺族会第三十三次戦没者遺骨収集団【金三十二万円也】野阪重信【金三十万円也】梅田光枝・鱸文子・黒田練介【金二十万円也】上原艶子・松島寛容【金十二万円也】河本カヲル・浅田興屋【金十万五千六百八也】島仲彌【金十万円也】伊藤和子矢野直彦・徳元洋真・鳴海美栄子・陸士第五十二期生会・時田ミユキ(財)特攻隊戦没者慰霊平和祈念協会・藤田久男・直井みつ子・橋勝巳・吉野幸雄・西谷雅樹【金七万円也】山本太郎・高山友三・鶴原正規・中澤恵子【金六万円也】石川菊江・加藤志ず・与儀シゲ・国際商事平良元【金五万円也】許田ヨシ・佐々木禎助・修養団捧誠会・笠原宗子・東健

勇・夢田容幸・清水益栄・渡辺三郎・琉球グーレックス(株)・松尾雪子(株)うるま印刷・仙北谷ミネ橋谷勉・上山ヨシヲ(木鱸太郎・札幌産機(株)・友利日出夫・川満定行・嘉数吉雄・鳥袋林正・石原昌昭・上間清活・仲地康治・上原栄徳・垣花力男・宮里為教・鶴田幸恵・上原直也・米須清二・玉城幸三郎・仲宗根盛仁・野底友子・井上十重子・神谷操子・板木一郎・中川禮・新報警備保障総合ビル管理(株)【金四万二千元也】土田千代【金四万円也】高柳潔子・小柳昌敏・後藤修士【金三万円也】大橋温子・富田博・瀬川淳・新垣信正・朝倉三省・渡邊勝美・原寿男・城間貞・鳥袋みつ・戸田愛・高木寅一・神原潔・仲村政慶・黒川善一・中島美千代(財)ひめゆり同窓会・千綿エ佐々木フユ・深井正昭・井川敏子・野菊会・同(有)新長堂土木・新里順・阿含宗・沖縄道場井上瑾子・大野康孝(有)コーディプロ【金二万五千元也】條島源吾【金二万円也】(株)広宣・富永清子・吉永義尊・神尾ひろ・外山とめ・早瀬千代子・切田京子・平良一男・村上カヨ・布施茂・内藤はる子・柳田光郎(株)沖縄庭芸・伊波前良・小川スズ・熊倉スミ・田村文雄・小野瀬雅子・久保保見・平尾貞幸・辻功・長崎県連合遺族会・田中昭二・小倉勇・トーマ産業(株)・村上真喜・渡嘉敷直幸・西沢功子・須崎幸子・喜屋武澄・坂爪富雄・佐々木栄・高江洲愛子・中村三郎・下條司・中村和水【金二万円也】安

田信吉・佐治房子・小候第二十二期生会・富永幸子・横山主三・中村清・岡田昌久・平賀あい・絹川美智子・塚本次雄・林宣昭・滋賀県傷痍軍人会・津島勲・菅原秀子・喜屋武亨・伊野波哲夫・宮里盛吉三村一徳・村上真喜子・横山保雄・我喜屋汝掛・額頼信義・平山義(財)広島県傷痍軍人会・大城マージナル・高津菊江・小林健吉・木村シズ子・宮城武志・南出春子・内畑弘・大田米一・當間彦太郎・深瀬仁郎・中野渡美智子・西曉男・いたま市遺族会・大宮支部・宮城久武・内保孝幸・佐々木大治・町田宗徳・柿木克己・鳥津修久・浅野芳子・与那嶺文子・古我知トミ・清野吾郎・中武重平・田貞子・知念栄子・伊江村遺族会・西平ヨシ・屋良の友の会・松原マツ・山川カメ・中村キク・前原盛祥・佐藤武司・羽布津麗子・湯澤貞・芝本末一・大城ときを・奥田義次・稲垣ふさ・石川好蔵・若狭茂・蓮井俊夫・畑中耕治・白木栄太郎・工藤イク吉・井静・鳥瀬キクエ・菊地周・滝沢朋作・赤羽常勝・大江照夫・斉田真半・田ゆき子・前泊正基・前原良一・前原敏彦・前原健徳・濱田静子・照屋義信・比嘉千代子・持田敏夫・村吉正健・連天成助・川田江勇・江原はつ・鎌田興季・佐藤良治・田中幸作・林孝太郎・安田麻夫・渡邊春雄・河野光雄・渡辺勝之・久門国雄・松本林・濱田静子・濱田静江・濱田榮一・小野等・小谷義秋・新里清・外間照雄・日置裕子・屋良朝正【金五千元也】魚谷哲央・玉川正久・澤田成代・宮里トミ

ありがとうございます。

発行 平成二十一年四月二十三日  
発行所 沖縄県護国神社  
〒九〇〇-〇〇二六  
沖縄県那覇市奥武山四十四番地  
TEL098-8571-2798  
FAX098-8571-7917  
編集担当 秋永万岐  
印刷所 憐うるま印刷

編集後記

今回は昨年の第五十回記念秋季例大祭の記事を特集致しました。カラーでお届けできなかったのが残念です。節目の年を迎えて更なる発展を期し一層励んでまいります。お陰様で近年の正月参拝者数は県内一を誇っております。しかし、高齢化に伴い御遺族のご参拝が減少しつつあります。御遺族の心の支えとなる神社として、沖縄県民皆様の神社を指し努めて参ります。今後ともご理解ご協力を切にお願い申し上げます。

主な祭典のご案内  
・ 4月29日午前10時30分 昭和祭  
・ 6月23日 正午  
沖縄戦戦没者総合慰霊祭  
・ 8月15日 正午  
終戦記念祭  
・ 10月23日 午後1時  
第51回秋季例大祭